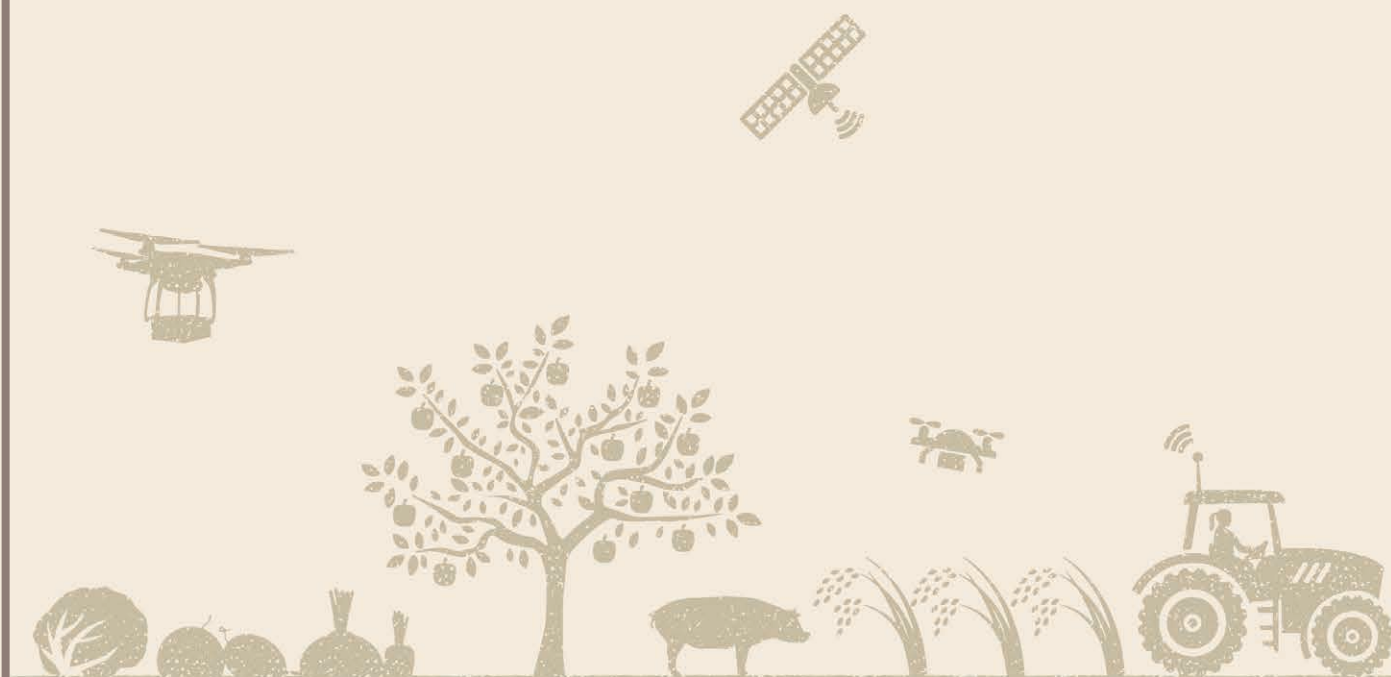




青森県の農業法人に就職する方のために

雇用就農 ガイドブック



青森県

この冊子は、**農業法人に就職**して農業を始める人のためのガイドブックです。

○近年、大規模な農業経営体の法人化が進んでいることを背景に、農業法人へ就職する「雇用就農」が増えています。

○農業を基幹産業とする青森県では、農業法人は県内就職を目指す方にとって重要な就職先のひとつであり、また雇用就農は身内に農家がない非農家出身者が、農業に参入する際の重要なルートとなっています。

○この冊子では、雇用就農についてもっとよく知ってもらうため、県内の農業法人からのメッセージや、そこで働く従業員の生の声を紹介します。

=目 次=

1 農業法人とは	p2
2 農業法人への就職(雇用就農)	p3
3 雇用就農の事例紹介	p5
4 従業員を募集している農業法人	p21
5 農業法人に就職したい人へ	p88
6 農作業の体験から始めたい人へ	p90

本冊子は、令和3年1月現在の情報に基づいて作成したもので、制度の改正や雇用情勢の変化などにより内容が変わる可能性があります。就農を目指す際は、必ずお問い合わせの上、最新の情報を確認してください。

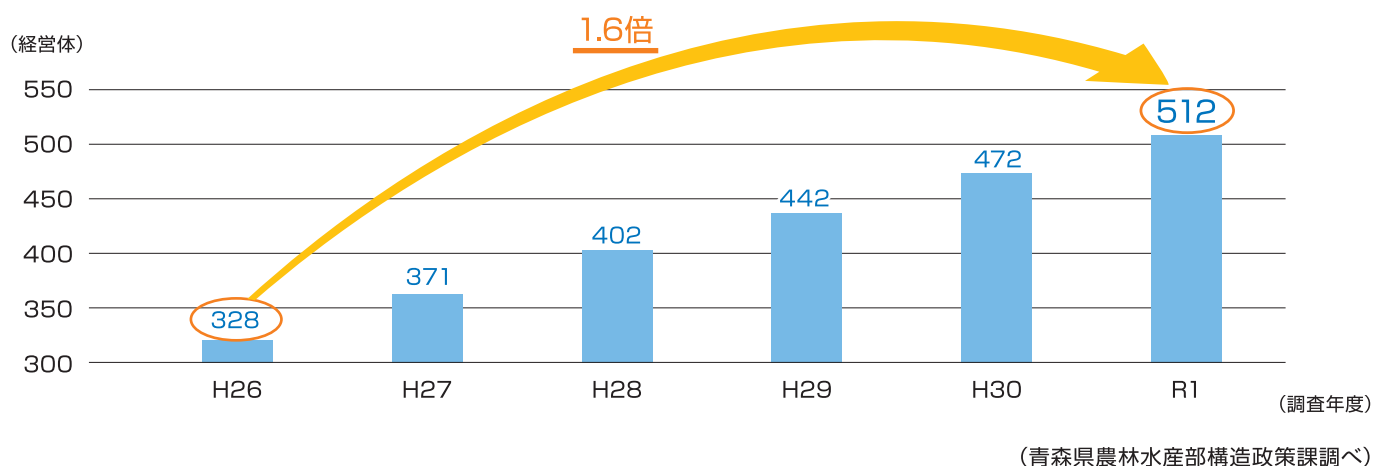
1 農業法人とは

法人数の推移

農業法人とは、株式会社や合同会社、農事組合法人などの会社として農業を営む法人の総称で、青森県内には令和元年度末時点で、512経営体があります。

農業法人数は、毎年増加しており、平成26年度から令和元年度までの直近5か年での増加率は、1.6倍となっています。

■青森県内の農業法人数の推移



農業法人は、家族だけで設立した法人(一戸一法人)から、従業員が数百人といった大規模な法人まで様々なタイプがあります。

また、多くの農業法人では、農作物の生産のみならず、加工や直接販売に取り組むなど、経営内容の多角化が進んでおり、年間を通じて多様な人財を必要としています。



2 農業法人への就職(雇用就農)

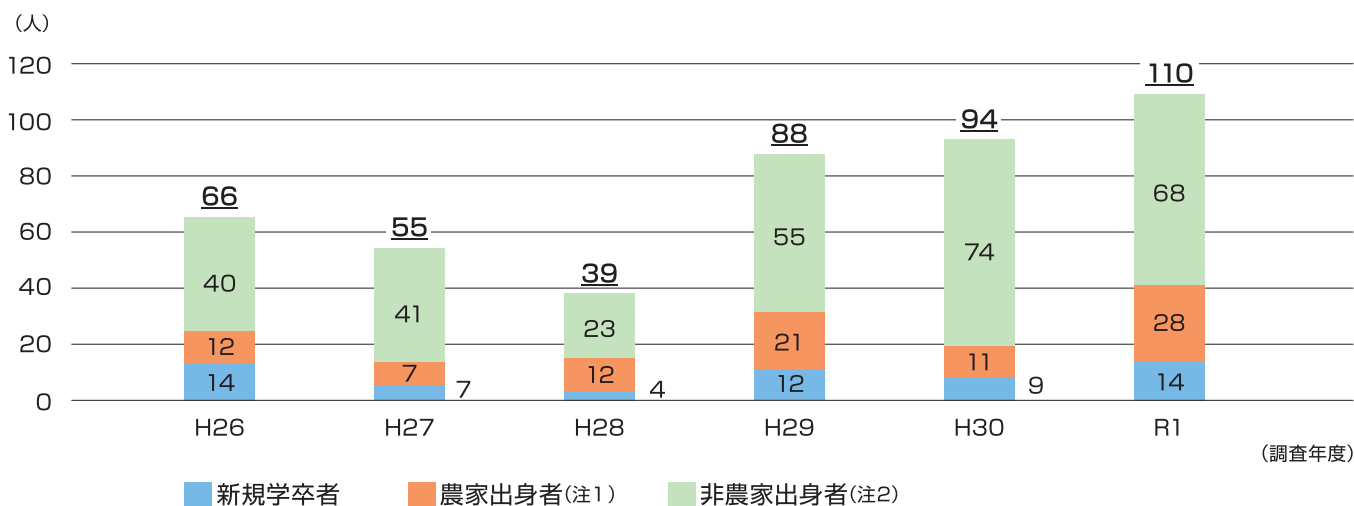
仕事としての「農業」

■ 新たに農業に参入するルート

身内に農家がない非農家出身者が、新たに農業に参入するには、①農業経営に必要な農地・機械・施設や技術・信用・販路などを独自に確保し、新たに農業経営を開始する「独立就農」と、②農業法人に就職し、従業員として農業に従事する「雇用就農」の2つのルートがあります。

近年、青森県では、農業法人の増加を背景に、雇用就農が大きく伸びており、令和元年度は、昭和63年の調査開始以来、最高の110人となりました。

■ 青森県内の農業法人への就職者数



(青森県農林水産部構造政策課調べ)

注1) 就農前に農業以外の産業に従事していた者又は農業研修後に就農した者のうち、農家出身者

注2) 就農前に農業以外の産業に従事していた者又は農業研修後に就農した者のうち、非農家出身者

■ 雇用就農のメリット

経営基盤を持たない非農家出身者が独立就農するには、農地の取得費や賃借料、機械・施設などの導入資金、種苗・肥料・農薬などの購入に必要な運転資金、さらには、経営が安定化するまでの生活資金が必要です。平成28年度に全国新規就農相談センターが実施した調査によると、就農1年目の営農にかかった金額は、平均約569万円となっています。

これに対して、雇用就農は、一般の会社への就職となんら変わりませんので、就農時の農地取得や初期投資等が不要で、会社員として給料をもらいながら、農業に従事することができます。

■ 農業法人の労働条件

農業の生産現場では、労働力不足が深刻な課題です。このため、多くの農業法人では、優秀な人財(※)の確保に向けて、男女別のトイレの整備や育児・介護休暇の導入など、働きやすい環境づくりに取り組んでおり、大型機械の運転免許の取得支援などの福利厚生も整備されつつあります。

なお、一般の個人農家とは異なり、農業法人には、労働保険(労災保険・雇用保険)や社会保険(健康保険・厚生年金保険)への加入が義務付けられています。



※人財:青森県では「人は青森県にとっての『財(たから)』である」という基本的な考えから「人」「人材」などを「人財」と表しています。

■ 求められる人財

多くの農業法人では、農作物の栽培が上手な人だけではなく、新製品の企画・開発が得意な方や、販売先の新規開拓に必要な営業力を持った方、スマート農業やECサイトの整備にあたりITに強い方など幅広い人財を求めています。

採用に当たっては、農業経験よりも、熱意とやる気、健康・体力面やチームワークへの適性が重要視される傾向にあります。

また、入社して経験を積んだ後は、会社のサポートを受けて独立就農する人もいれば、段階的に各部門の責任者や取締役へとステップアップする人もいます。

将来の社長候補や、幹部従業員として経営をサポートしてくれる人財を求めている農業法人も少なくありません。



3

雇用就農の事例紹介

青森県内で活躍する7つの農業法人を紹介

稲作経営の法人

春の田植え時期と秋の収穫期に作業のピークを迎えます。

省力化が進んでおり、大型機械を活用した作業が多く、農業用機械の運転（オペレーター）が主体となります。

近年は、ドローンの導入や作業日誌のデジタル化など、スマート農業技術を積極的に活用する農業法人が増えています。



(株)アグリーンハート

黒石市 水稻

p7

果樹作経営の法人

9月から11月の収穫時期に作業のピークを迎えます。

摘果や着色管理、収穫などの手作業が主体で、たくさんの労働力を必要とします。

このため、ベテラン作業員を中心としたチームで作業することが多くなります。

なお、樹の高さに合わせた高所での作業が多く、脚立や高所作業車が使われています。



(有)エムケイヴィンヤード

むつ市 ワイン用ぶどう

p9

(株)パープルウィンドウ

弘前市 りんご

p15

もりやま園(株)

弘前市 りんご

p17

■ 野菜作経営の法人

トマトやいちごなどの施設野菜と、ながいも、ごぼう、だいこん、にんにくといった露地野菜に分けられます。

露地野菜では、植付けや収穫作業などで機械化が進んでいますが、細かな手作業も多く、たくさんの労働力を必要とするため、外国人技能実習生などを積極的に受け入れる農業法人が増えています。



(株)黄金崎農場

深浦町・弘前市 露地野菜

p11

ジョイント・ファーム(株)

三沢市 露地野菜

p13

(株)よしだや

三戸町 にんにく

p19

■ 畜産経営の法人

多くの農業法人は、牛・豚・鶏のいずれかに特化しています。

牛を扱う農業法人では、牧草の生産を行うことが多く、その収穫期に作業のピークを迎えます。

それ以外の法人では、年間を通じて作業が平準化されていて、衛生管理の厳格な畜舎内での手作業が主体となります。

また豚や鶏を扱う農業法人は、大企業のグループ会社が多く、売上高や従業員数は、他の作物の農業法人と比べ群を抜いています。



畜産業で働く従業員の紹介等については、「畜産業で働く! Work Style」を参照ください。
(詳しくは、p89参照)

株式会社アグリーンハート

【水稲(一部有機)、有機野菜(アスパラほか)東京に直販店、音楽制作、webページ制作、デザインほか】



大地に感謝して自分を耕す！ 楽しい農業で未来を支える会社を目指します。

ミュージシャン・タレントとしても幅広く活動する佐藤拓郎(Takuron)が創立した、『笑顔農業・感謝農業』をスローガンに掲げる会社です。

いま、農村では担い手不足が深刻で、このままでは地域農業を維持することが難しくなると言われています。

黒石市内の山間部にある「安入地区」^{あにゅう}でも、作り手がなくなった水田が広がっていました。私たちは、ふるさとの農業を守りたいとの思いから、有機農業での再生に取り組み、現在は農作業体験の受入れや、障がいのある方の雇用の場にもなっています。

また、平野部では、高齢化でリタイアする農家から水田を引き継ぐことで生産規模を拡大しながら、いち早くドローンなどの「スマート農業」を取り入れ、近未来を先取りした生産性の高い水田農業にチャレンジしています。

このように、私たちは、地域に根ざし、山間部では「有機農業による高付加価値生産」、平野部では「最先端技術を駆使した低コスト大量生産」といった2つのビジネスモデルに取り組んでいます。

一方、販売に関しては、東京都世田谷区に直営店「DAITA ^{ダイタ デシカ}」をオープン。安全・安心志向が強い消費者を会員に募るとともに、自然栽培による米づくりの動画を配信する「届ける農業プロジェクト」に着手し、農業のエンターテインメント化と生産過程の見える化に力を入れています。

これからの農業にとって最も大切なのは、前例にとらわれないアイデアで地域をデザインしていくことだと思います。私たちは、新しい地域と一緒に創っていくための人材を求めています。

会社概要

株式会社アグリーンハート

〒036-0504

青森県黒石市馬場尻東 61-15

Tel.0172-26-5015

<https://www.agreenheart.jp>

会社設立 2017年(平成29年)1月

従業員数 14名

売上高 1億2000万円(2020年3月時点)

採用情報

採用職種	総務、広報、生産 (業務内容は現場作業から広報まで幅広い内容です。農業が好きな人であれば誰でも向きます)
必要な資格等	なし
勤務先	青森県黒石市、東京都世田谷代田
勤務時間	8:00~17:30
採用人数	若干名
手当等	家族手当、通勤手当、出張手当
福利厚生	社保完備

年間作業カレンダー

春

種籽準備、代掻き、播種、
畦塗り、肥料散布、耕起、
田植え

夏

草刈り、水管理、除草、
追肥

秋

稲刈り、乾燥・粃摺り、
パッキング、催事

冬

パッキング、催事、
セミナー等講習

アグリーンハートの取組

■ 社員の成長を応援します！

社員は会社の大切なパートナー。定期的に面談し、本人の希望と適性に基づき担当業務を決めています。

仕事の幅が広く、作業内容も多岐にわたるため「育ててください」というスタンスの人には向きません。「育ちたい」という意思があれば最大限伸ばせる仕組みづくりを心がけています。

■ あなたの笑顔が地域を潤す！

国際農場基準の「GLOBAL G.A.P.」の他「有機JAS」「ノウフクJAS」の3つの認証を取得しています。安全・安心な農作物は安全・安心な作業環境から生まれます。地域を笑顔にするためには、自分が笑顔でいられる環境が大事です。フレックス制の導入や充実した子育て支援はもちろん、家族と自分のイベント時は出勤禁止の会社です。

■ 多様な人を募集しています！

創立以来、経営規模や事業内容が急速に拡大し、チームで切磋琢磨しながら、地域のファーストコールカンパニーを目指して事業を展開しています。経験や学歴は一切不問。「その人に何ができるか」を評価します。

生産部門から販売部門、バックオフィス担当まで、農業で地域をデザインしたい人を募集しています。



先輩の声

物言わぬ農作物と向き合い、収穫を迎えたときの達成感は最高です！

和田 充弘 さん (48)
[大阪府堺市出身・2019年入社]

長らく首都圏で働いていましたが、平成27年に黒石市に夫婦で移住しました。このころは介護関係の仕事をしていました。家を建て、ガーデニングや家庭菜園をはじめてから、「自分は土いじりが好きなんだ。農業やってみたいな。」と思うようになりましたが、年齢や自己資金の問題もあり、半ばあきらめていました。

そんな思いをSNSに綴っていたところ、バンド活動で知り合いだった社長から声をかけられ、農業に転職。会社員としての農業参入には、妻も賛成してくれました。

ほとんど農作業の経験はありませんでしたが、社長や同僚の支援もあり、いまは自然栽培と農福連携を担当しています。

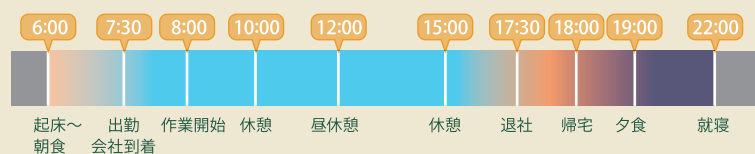
実ったお米や野菜には、「育ってくれてありがとう」感謝の思いが湧いてきます。農作業は疲れることはありますが、辛いと感じたことはありません。私にとって農業は、大切なライフワークになりました。



農業への転職
アリですね！



1日のスケジュール



プライベートタイム

ロックバンド「ホイドーズ」のドラムを担当しつつ、ガーデニングや釣り・青森ライフを満喫しています。



有限会社エムケイヴィンヤード

(サンマモルワイナリーグループ)

【ワイン用ぶどう、牛肉（日本短角種）】



世界で評価される最高品質を目指して。 本州最北端のワイン用ぶどう栽培に挑戦しています。

多数の青森県産ワインを手掛けるサンマモルワイナリーグループの生産部門として、むつ市川内町でワイン用のぶどう生産に取り組んでいます。青森県の中でも気象条件の厳しい下北地方は、冷害や梅雨による日照不足の影響を受けやすく、長い間、果樹作に向かない地域と言われてきました。こうした中、当社がワイン用ぶどうの栽培を始めたのは20年以上前になります。周囲から冷ややかな目で見られたこともありましたが、試行錯誤を重ねながら、厳しい気象条件を逆にとり、化学肥料を一切使わない環境と調和した栽培方法を確立しました。

当農園のぶどうを原料に生産される基幹商品の「下北ワイン」は、国内はもとより、ヨーロッパの品評会でもその品質を認められ金賞を受賞するなど、国際的にも高く評価されています。

私たちは、創業時から「下北に産業を、下北に雇用の場を」を合い言葉に歩みを重ねてきました。その努力は、この本州最北端の地で実りを結び、更なる高みを目指して全従業員が一丸となって、頑張っています。

令和2年には、ワイン専用ぶどう園としては、東北初となるグローバルGAP認証を取得。サンマモルワイナリーのA-HACCP認証ワイン工場と連動し、国際基準を満たしたワインづくりの体制を整えることができました。また、ワインと一緒に楽しむことができる地元産品にも目を向け、国内の和牛流通において1%程のシェアしかなく、希少価値の高い「日本短角種」の導入にも取組を拡大しています。

これからも世界中から愛されるワインづくりを目指し、私たちの挑戦の物語は続いていきます。

会社概要

■有限会社エムケイヴィンヤード

〒030-5201

青森県むつ市川内町川代 1-6

Tel.0175-42-3870(サンマモルワイナリー)

<http://www.sunmamoru.com>

会社設立 2003年(平成15年)9月

従業員数 12名

売上高 1億8000万円
(サンマモルワイナリーグループ全体)

採用情報

採用職種	ワイン用ぶどうの栽培管理
必要な資格等	自動車運転免許(AT限定不可)
勤務先	むつ市川内町川代1-6
勤務日・時間	8:00~17:00
採用人数	若干名
手当等	役職手当、通勤手当、家族手当、みなし残業手当
福利厚生	社保完備、退職金制度(勤続年数5年以上)、従業員割引制度、永年勤続表彰制度

年間作業カレンダー

春

剪定、誘引(つるを支柱に結びつけて固定する)、
薬剤散布、接木、草刈り

夏

芽かき、薬剤散布、草刈り、
枝の入れ込み・挟み込み、
防鳥ネット設置

秋

枝の挟み込み、摘葉
白ぶどう・赤ぶどう収穫
防鳥ネット回収、施肥、仮剪定

冬

仮剪定、竹支柱交換、
樹体管理

エムケイヴィンヤードの取組

世界市場で評価されるぶどう園を目指します!!

ワインづくりは、醸造もさることながら、専用ぶどう園のコンディションが、その価値を左右します。最高のコンディションを整えることで、「ヴィンテージ・ワイン」を生み出すことも夢ではなく、その付加価値には上限がありません。

下北ワイン専用ぶどう園の仕事は、世界市場と繋がっています。

農業は「科学(Science)」です!

下北地域でのワイン専用ぶどう園という前人未踏の取組は、一つひとつの課題を数値に基づいて多角的に分析するプロセスにより成し遂げました。

農業を科学として捉え、論理的に対応する。当社の企業風土として、全従業員で共有している考えです。

一般企業並みの労務環境を整備しています!

定時出社・定時退社を原則に、働き方改革を実践しています。

農業でも、際限なく働きつづける時代は終わりました。農産物の安全・安心はもとより、従業員の健康を守ることが第一です。



先輩の声

質の高いぶどうを作る、 チャレンジが面白い!

工藤 和幸 さん(24)
[八戸市出身・2016年入社]

やりたいことを
仕事にしよう

実家は農家ではなかったのですが、子どもの頃から農業に興味があり、名久井農業高校、青森県営農大青森校へ進みました。農業の中でも果樹が好きだったので、ワイン用ぶどう栽培に挑戦してみたいと思い、就職しました。

果樹は、何年ものかけて樹をつくり、1年に1回だけ収穫する農作物。腰を据えてじっくり取り組めることが、私には合っていると思います。

生産工程管理に興味があり、グローバルGAPの取得を提案したところ、すぐに担当させてくれたことには驚きましたし、認証取得することができ、社員全員で喜びあったことはうれしかったです。

学校卒業後、自分で果樹園を開園する方法もあったと思います。でも、今のように広大なぶどう園を管理したり、みんなと喜びを分かち合うことは、就職しなければできなかったと思います。



1日のスケジュール



プライベートタイム

アウトドアが大好きで、趣味は海釣り。今年は船免許も取りました。オープンカーでのドライブは、無心になれるからいいですね。





豊かな自然にいだかれ、 日本有数の規模を誇る農場で働いてみませんか！

昭和51年創業。間もなく半世紀を迎える老舗の農業法人です。

弘前市岩木地区と深浦町^{へふし}地区の2農場を拠点に、約500haの経営面積を誇ります。近年でも、離農する方から農地をお預かりしたり、耕作放棄地を自社で復元開墾することで、耕作面積は年々拡大し続けています。

栽培品目は、種子ばれいしょ、大根、にんじん、キャベツなど、機械作業が主体となる品目を中心に組み立てており、生産物は日本を代表する大手食品メーカーや商社などとの直接契約により出荷しています。中でも種子ばれいしょは、40品種に組み込み、種苗会社などを通じて、全国の農業者へ供給されています。

現在、物流等の拠点を弘前市岩木農場におき、季節や作業に応じて2つの農場を行き来しています。多くの従業員は、子育てなどのライフスタイルに合わせ、弘前市、深浦町、五所川原市などの近隣市町村から通勤しています。

従業員は非農家出身者が多く、入社後に会社の支援を受けて、大型機械のオペレーターに必要な諸免許を取得することができます。また、経験年数や勤務内容に応じて、部門の責任者や役員などにステップアップするなど、長く働き続けることが可能な職場となっています。

雄大な自然に囲まれ、スケールの大きな農業を実践したい方には、きっと最高の職場です。

黄金崎農場では、若い力を募集しています。

会社概要

株式会社黄金崎農場

〒038-2327

青森県西津軽郡深浦町大字鱸字垣根 155

Tel.0173-75-2122 Fax.0173-75-2226

<http://www.koganezaki-farm.jp>

会社設立 1976年(昭和51年)1月

従業員数 66名

売上高 6億8,000万円(2020年3月時点)

採用情報

採用職種	農作業オペレーター
必要な資格等	普通免許(AT限定不可)、 大型免許等取得者優遇(入社後の取得支援制度あり)
勤務先	弘前市大字十腰内字猿沢2934、 西津軽郡深浦町
勤務時間	7:30~17:00
採用人数	若干名
手当等	通勤手当、携帯手当、遠方手当
福利厚生	社保完備

年間作業カレンダー

春

各作物の植付準備、耕起、
播種、管理作業

夏

キャベツ、レタス、
ばれいしょ収穫

秋

種子ばれいしょ選別

冬

だいこん漬け込み、
にんじん収穫、選果、
種子ばれいしょ選果、出荷

黄金崎農場の取組

■ 将来の経営陣を募集しています

当社はいわゆる同族企業ではなく、新人社員を幹部候補生として育て、将来経営陣に参画いただくビジョンを持っています。(現在の社長も、創業者一族出身ではありません)
経営の一翼を担うキャリアを目指される方をお待ちしています。

■ スケールの大きい農業が楽しめます

東京ドーム100個分を優に超える、日本でも有数の大規模経営を実践しており、社員数も66人。農繁期にはパートを含め100人以上の方が働く大所帯です。

扱う機械も多種多様。170馬力を超えるトラクターの振動は、乗り物好きにはたまらない魅力があります。

■ 風光明媚な自然に囲まれた作業環境

四季折々の姿を見せる岩木山。西海岸に沈んでいく夕日。黄金崎農場の畑では、大自然ならではの風景を楽しむことができます。

作業の終わった夕方、あまりの風景の美しさに、思わずため息をついてしまう。自然の中での生活に憧れを抱く方には、是非お勧めしたい環境です。



先輩の 声

ド素人の私がハマった 農業という仕事

山本 亜衣 さん(30)
[五所川原市出身・2011年入社]

やったことが
なくても
気軽にやってみれば
いいと思います。

入社するまで、農業経験はゼロ。たまたま農場で知人が働いていて、紹介があり入社。畑に入ったこともないド素人として、私の農場ライフが始まりました。

まずは農場スタッフとして、仲間や上司に教わりながら、収穫などの手作業を担当。仕事を任せてもらいたくて、免許を取得。今はフォークリフトからトラクター、大型トラックを乗りこなすくらい、農業にハマりました。

3年前に職場結婚。子どもに恵まれ、育休&産休。職場復帰した今は、朝、保育園に送って、日中は仕事。帰ってから子どもと遊ぶスケジュールで動いています。

実は農業って若い男性が多い職場。出会いの場がたくさんあるんですよ。



1日のスケジュール



プライベートタイム

子どもたちとお出かけしたり、旦那とレーシング仕様の車でドライブするのが休日の楽しみです。




 ジョイント・ファーム
株式会社


時代の流れにあわせて事業を多角化、
会社の成長とともに自身の成長を実感できます。

三沢市で、青森県の特産野菜である「にんにく」「ながいも」「ごぼう」を主に生産し、その特産野菜の特徴を生かした加工品の製造にも取り組み、関東・関西を中心に県外へ販売しています。

当社の理念は「食卓にならぶまでが農業」。これを実現するため、社名には、ありとあらゆるシーンを追求すること、多くの繋がりを創出し、事業の多角化を目指すという意味を込めました。

私たちは、おいしい野菜づくりを基本としつつも、従来のやり方にこだわらず、理想的な栽培体系の実践と積極的な情報発信に力を注ぎました。

また、お客様のニーズを自社の事業に落とし込むPDCAを繰り返すことによって、創業以来、每期事業規模が拡大しており、現在は、自社生産に加え、生産者からの買付け、各種パッケージなどの加工、出荷受託を主要な事業としています。

これからの農業には、食を巡る世界的な情勢の変化に対応するため、未来を見据えた経営転換が求められています。

そのため、当社では、生産から販売、経営までマルチに対応できる人材育成に力を入れており、入社後は、農作業のみに従事するのではなく、積極的な営業提案や取引先との商談なども担当してもらいます。

将来的には各事業の分社化、新たな営業拠点の設立も視野に入れており、経験を積んだ社員には、役員への登用や関連会社の代表を任せたいと考えています。

会社概要

■ジョイント・ファーム株式会社

〒033-0164

青森県三沢市谷地頭3丁目60-1

Tel.0176-58-6511

<https://www.joint-farm.com/>

会社設立 2016年(平成28年)1月

従業員数 14名

売上高 1億8300万円(2020年3月時点)

採用情報

採用職種	総合職(農産物の生産販売に関する業務全般)
必要な資格等	普通自動車免許(AT限定不可)
勤務先	青森県三沢市谷地頭3丁目60番地1号、 近隣圃場
勤務日・時間	8:00~17:00
採用人数	若干名
手当等	役職手当、通勤手当、Iターン手当
福利厚生	社保完備、作業服補助

年間作業カレンダー(ながいも)

春

 収穫、出荷作業、基肥散布
トレンチャー耕植付、
ネット張

夏

出荷作業、除草・追肥

秋

 収穫、出荷作業、
除草、ネット撤去

冬

収穫、出荷作業

ジョイント・ファームの取組

20代前半の社員が活躍!

若手社員が教育担当として未経験者への指導を行っています。

トラクターなど運転免許の取得費用の半分を助成しているほか、1ターン手当も支給。県内はもとより、県外出身の社員も多数働いています。

最先端の農業機械を積極的に導入

農業に熱意を持って入社する若い人たちの期待に応え、時代に合った農業経営を実践するため、KSAS(クボタ スマートアグリシステム)、衛星電波によるトラクターの自動操舵システムなど、最先端の農業機械を積極的に導入し、生産性の向上に努めています。

また、こうした農業機械の活用によって省力化した労働力で、規模拡大を実現しています。

会社と一緒に成長できます!

時代に合った農業法人を目指し、今求められていることを実現するため、ひと工夫。毎年新しいことに取り組んでいる会社です。作り方、売り方など、現状に満足せず、ブラッシュアップしながら会社と一緒に成長することができます。



先輩の声

農業法人の中核を担う人材になって 社長の右腕となって働きたい。

成田 大夢さん(24)
[2017年入社]

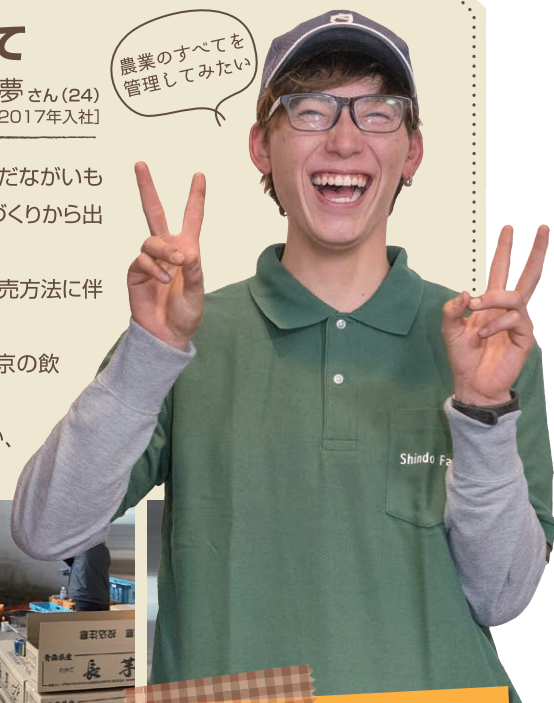
農業のすべてを
管理してみたい

平川市で生まれ、農業が好きで弘前実業高校農業経営科へ。青森県営農高等学校で学んだながいもの育成にハマリ、ながいものを作る農業法人へ就職しました。農業の現場作業を中心に、土づくりから出荷作業に至るすべての業務を行っています。

2019年(平成31年)からは、チーフに昇格し、生産管理システムへの入力や、新規の販売方法に伴う試験販売向けの出荷業務など、社長とともにいろんな業務を行っています。

夏場に朝が早いのは大変ですが、自分で生産したものが高く売れた時や、取引先の東京の飲食店で自分が作ったながいものを味わったときは最高の気分でした。

農業は、毎年同じことの繰り返し。でもここは違うんです。来年はロボットトラクター買うとか、次に何が飛び出してくるのか、おもしろいです。意欲のある方は、ぜひ入社してください!



1日のスケジュール



プライベートタイム

休日は半日以上寝て、彼女と一緒に買い物や食事に出かける時間が楽しいです。社長のおごりで寿司や焼肉を食べに行くこともあるんですよ。

